

東京の介護って素晴らしい！グランプリ2019
メッセージ部門 最優秀作品

雲の上の存在

A
・
K
さん

「し：し：し：。」

人は最期、声にならない声を発する。看取り対応中だったAさんは、私の目を見て、何か訴えようとした。「死にたい」と言われたら、何と答えれば良いだろう。一瞬、身構えた。と同時に、思わぬ言葉が返ってきた。

「親切にしてくれて、ありがとうございます。もう心配いりません。」

いつも周りを気遣うAさんは、最期の最期までAさんだった。弱音を吐かず、思いやりの心を忘れず、旅立った。いつまでも、私の憧れの人です。

審査員からのコメント

Aさんの描写が素晴らしく、いのちの尊さ、こういう方に看取ってもらいたいと感じました。

東京の介護って素晴らしい！グランプリ2019
メッセージ部門 優秀作品

82歳、私の夢

S・Sさん

私には夢がある。それは、2020年東京オリンピックで「英語でのおもてなし」をすること。

これからは、介護分野での海外出身職員さんが増えるでしょう。「お国の言葉で挨拶と御礼」が言えたならば、介護者・要介護者の関係も国境も超えられるはず。かつてマラソン選手を夢見た私は自分の脚で歩くことが難しい今、英語を話せる自分を想像すると、今を生きている実感と希望が持てる。明日からと言わず今日から始めなきゃ。

審査員からのコメント

若い頃の夢をつなげて、高齢になった今、新しい夢を持つ。それによって人生を充実させている姿が感動的でした。

東京の介護ってすばらしい！グランプリ2019
メッセージ部門 優秀作品

介護は人を幸せにする仕事

F・T・Vさん

お金を稼ぐことを目的に来日しましたが、介護の仕事を始めて私の考えに変化が起きました。

昨日元気だった利用者様が急に具合が悪くなる場面を見て、健康の大切さと実感したこと、そして利用者様に関わっていく「今」に最善を尽くそうと考えるようになりました。

介護は、人を幸せにする仕事だと思います。故郷を離れ、日本に来た時は家族を思いだして涙が止まらないこともありました。でも利用者様も職員の皆さんも私にとっても親切にしてくれました。皆さんの愛情の中で私は生きています。

審査員からのコメント

「お金」のために介護をしようと思ったけれども、涙しながら、人の生きる場の無常を知り成長する姿に感動しました。